



中国・上海
齋藤 芳文 氏 ②

中国での転職、そして開業

ました。同センターにはクラウンブリッジ製作部門もあって20人ほどのスタッフがいました。勤務時間は9時～17時半。あまり残業もなく、遅くても19時には帰ることができました。仕事場は医学大学の中にあり、学生食堂や売店、プール、運動場、図書館などが利用

た。月末の数字報告では、会計士から「今回はギリギリでした」とか、「前回より少し上がっています」、「十分足りています」などの結果が数字で示され、将来の開業の目標に向け、4カ月間の代理経験は非常に良かったと思っていま

す。日本に帰るのは惜しいとの思いがあり、入社を決めました。給料は1万円(日本円で約14万円)でした。仕事はノンクラステンチャーとポーセレン、そして、時々ハイブリッドを作っていました。ポーセレンは1日12本前後、ノンクラステンチャーも大きいケースはなく、1～2歯欠損の小

さいものが2日間で15個くらいでした。勤務時間は9時～17時半で、残業はあまりありませんでした。ここでは中国人スタッフやドクターとの人脈を築き、中国人の経営戦略を知るのが一番の目標、勤務は長くて2年間と心の中で決めていました。スタッフは全員中国人な

ので、中国語の勉強は驚くほど進みました。2年目(2010年)の契約更新時は、給料5千円アップで契約しました。日本からの仕事量が増えたのが高評価につながったと思います。この年は上海万博が開催され、会社も広い場所に移転し、中国国内に数台しかなかった3M社のCAD/CAM、Lavaの導入等により、会社が急成長した年でもありました。私はそれを目の当たりにし、頑張らなければとの焦りと、

これからの歯科技工所経営には最低限の設備投資が必要だと痛感。2011年の開業プランを1年延長し、設備を揃えるために資金をためることにしました。そのため、11年の2度目の契約更新では、章社長に固定給プラス歩合制を申し出ました。会社側も2年間で十分な数字を出していたのを評価してくれ、すんなりOKしてくれました。異国の地で日本人が一人で開業、独立するのがいかに難しいかを知っているのに、「絶対に信頼できる中国人と組む」と考え、パートナー探しは真剣でした。候補者は何人かいましたが、1年半以上、ルームシェアしていた中国人の王志勝さんに決めました。09年末から「一緒にラボをやらないか」と誘われていたのですが、人柄がよく分からなかったため返事を保留していたのです。ルームシェアを始めて人柄が分かってきたのが決め手でした。11年12月末に退職、12年1月に上海眞誠歯科技工有限公司を開業しました。(次号に続く)

2006年4月訪中時の就職先は、上海早稲田トレーニングセンターでした。仕事はノンクラステンチャーの生産・管理が主流で、スタッフは私を含め7人。1日15ケースほど(国内、国外を作っている)

でき、とても便利でした。

1年がたち、仕事の段取り等に慣れたころ、突然、中国人の総経理が辞職させられるという事態が起きました。彼の代理を私が務めました。歯科技工だけをやっていたのと違い、毎日がプレッシャーとの戦いでした。

最低限スタッフの給料を確保し、赤字にしないための数字のキープを第一に考え、自分の技工はもちろん、ほかの技工物のクオリティ管理、営業、事務処理など、日曜日も関係なく、走り回っていました。

日本人の総経理が東京本社から来た時点で、私は代理を降り、その人のサポートに回りました。しかし、時間の経過とともに考えが合わなくなり、中国の事情も理解せず、自分勝手な人物の下ではやる気がうせ、08年12月末に退職しました。

中国のローカル会社、上海傑達(JIEDA)歯科製作有限公司に転職したのは09年1月でした。社長の章偉良さんとはある歯科医院で知り合

い、会うたびに「ウチに来ないか?」とオファーされていた。上海に来て何も残さず

横田先輩(左)が上海早稲田に遊びに来たので会社の前で一緒に記念撮影! シカゴに来てから5年ぶりの再会

09年、JIEDA歯科製作有限公司の章社長(右)と。日本語が上手いのになぜか会話は中国語になってしまう(笑)



横田先輩(左)が上海早稲田に遊びに来たので会社の前で一緒に記念撮影! シカゴに来てから5年ぶりの再会

09年、JIEDA歯科製作有限公司の章社長(右)と。日本語が上手いのになぜか会話は中国語になってしまう(笑)



横田先輩(左)が上海早稲田に遊びに来たので会社の前で一緒に記念撮影! シカゴに来てから5年ぶりの再会

09年、JIEDA歯科製作有限公司の章社長(右)と。日本語が上手いのになぜか会話は中国語になってしまう(笑)

候補者は何人かいましたが、1年半以上、ルームシェアしていた中国人の王志勝さんに決めました。09年末から「一緒にラボをやらないか」と誘われていたのですが、人柄がよく分からなかったため返事を保留していたのです。ルームシェアを始めて人柄が分かってきたのが決め手でした。11年12月末に退職、12年1月に上海眞誠歯科技工有限公司を開業しました。(次号に続く)